

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 椋山女学園大学附属小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒464-0832
 愛知県名古屋市千種区山添町2-2

E-mail : shoujim@sugiyama-u.ac.jp

Website : <http://www.sugiyama-u.ac.jp/>

児童生徒数：男子 名 女子 386 名 合計 386 名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

2014年5月①アフリカ タンザニアとの「ティンガティンガ」絵画交流活動
6月②ブルキナファソ国への支援交流活動(1)
7月③ユニクロ「服のチカラ」プロジェクト参加
11月④ESD研究授業公開
「自ら考え発信・実行できる子どもたちの育成」
環境教育・国際理解教育・地域教育を取り入れた授業開発
2015年2月⑤名古屋フィルハーモニー交響楽団とともに「名フィルエールコンサート」への参加
2月⑥ブルキナファソ国への支援交流活動(2)

①「ティンガティンガ」絵画交流活動

アフリカ、タンザニアで活動するティンガティンガ絵画作家の方をお招きし、写真を見せていただいたりお話を聞きながら現地の暮らしぶりなどを紹介していただき、作品を見せていただいた。全校の児童が見守る中、その作品の中の一点を寄付していただいた。

②、⑥「ブルキナファソ国への支援交流活動」

児童が鉛筆メーカーとともに開発をしたオリジナル鉛筆を全校児童に対して販売し、そこで得た収益金の一部を、アフリカでの井戸掘り活動の資金に充ててもらおうという活動を続けている。児童会が、1年間に2回販売期間を設けて実施している。

③「服のチカラプロジェクト参加」

ユニクロが行うプロジェクトを、4～6年生が中心となって行った。レクチャーを受けた後、約2週間にわたって子供服の収集を行った後、児童会が責任を持って郵送した。

④「ESD研究授業公開」

本校が足掛け4年にわたって行ってきた研究成果を、授業公開した。全学年、全クラス、全教員が公開授業に臨み、本校教員が開発したESDを取り入れた授業を広く公開し、名古屋市教育委員会指導主事からご指導いただいた。

⑤「名フィルエールコンサート」に参加

4～6年生児童が、名古屋フィルハーモニー交響楽団とともにエールコンサートに参加した。その後、寄付についての授業を受け、寄付先となるNPO法人から活動内容などのプレゼンを聞き、実際に寄付先を選定投票した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）